

令和4年度 学校評価報告書

学校番号(小53) 長崎市立(西山台小)学校

1 教育目標

心豊かでたくましく、夢に向かって挑戦できる子どもの育成 学びいっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい

2 学校経営方針

憲法及び教育基本法、長崎県並びに長崎市の教育方針、教育振興計画に基づき、地域の実態に即し、本校の伝統を重んじながら教育の確立を図る。このため、人間尊重の精神を基盤として、生涯を通じて学ぶ基礎を養い、国際社会に貢献できる心豊かで、逞しい児童の育成に努める。

3 重点目標

1 心の教育の充実 支持的風土・自治的風土の醸成 2 生活指導の充実 ルールを守る子どもの育成 3 学力向上 ※「個別最適な学び」と「協働的な学び」のバランス 学習規律・訓練の徹底、分かる授業の確立 4 体力の向上 体育科の授業の充実・外遊びの奨励・年間を通した運動の実施 5 特別支援教育の充実 一人一人の個性が輝く指導・支援体制の確立 6 地域との連携 学校と家庭・地域の連携の推進 7 教職員の働き方改革 働きやすい(働き甲斐のある)職場環境づくり

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	84	94	100	三者とも、教育目標と学校の雰囲気は、高い評価となっている。 業務改善については、6割近くとポイントが低くなっており、職員の意識改革がなかなか進んでいない。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	86	95	100	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			57	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	78	94	93	ルールやマナー挨拶については、児童の自己評価が保護者・教職員よりも低い。校内のルールなどがしっかり守られていない状況を反映している。いじめ防止の取組が、三者とも9割近く高くなっていて、学校側の指導が保護者に理解されている状況と考える。
		挨拶をよくしている	78	88	86	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	82	81	71	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94	79	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	94	85	100	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	95	88	100	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	82	98	92	
	特 別 支 援 教 育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている		95	93	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ く り	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	79	84	54	特色ある学校づくりでは、教職員の評価が低くなっている。ウィズコロナを見据えた教育課程が定まっていないことが考えられる。わかりやすい授業では、保護者児童ともに9割近く高い評価となっていて、非常にやりがいのある結果である。キャリア教育については、保護者の数値が低くなっている。保護者にわかるような教育課程が実施されていないと考える。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすい授業を行っている	95	89	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	90	81	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	83	73	93	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	88			
健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	87	90	93	保健衛生では、コロナ禍の中でマスク着用や手指消毒など、機会あることに指導を続けてきた結果だと考える。体力の向上では、保護者や児童が低くなっており、学校行事の中で、体力育成の教育課程が少ないせいではないかと考える。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	79	79	85	
		体力向上に努めている	83	85	100	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	85	87	86	

信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	91	90	100	情報提供では、どれも9割近くの高い評価となっているが、HPの内容に児童の活動の様子が乏しいとの指摘もあり、この点は改善が必要である。PTAや地域との連携では、昨年と同様に低くなっており、ウィズコロナに対応した取組が求められる。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	87	91	92	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	56	90	54	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			92	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	87	87	93	教育環境では、三者とも高い評価となっている。除草作業や前庭樹木選定など目に見える形で着実に進めてきた結果であるといえる。まだトイレの修繕が進んでいないが、安全点検を着実にを行い、児童の安全確保に対応していく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			93	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

コロナウィルス感染症対策が進み、かなり学校行事が以前と同じくらいできるようになった。数値が低い項目が多少あるが、保護者や地域と連携を取りながら、ウィズコロナ時代に対応した学校運営をしていく。保護者の評価は、概ね9割近くと高い評価となっている。児童が満足して学校生活を送っていると考えられる。業務改善では、数値が低いので、職員の意見を反映させながら、西山台小『働き方改革』を確実に進めていく。(自動応答電話や欠席連絡システムが運用開始した)

6 学校関係者評価

- ・全体的にどの項目も数値が高く、三者とも楽しく前向きに取り組んでいる印象を受ける。
- ・業務改善項目の57%は、教職員の皆さんのジレンマや苦しみが出ている数値だと感じる。意識改革を含めて、もっと取り組んでほしい。
- ・キャリア教育の項目では、とらえ方のギャップがあるのではと感じる。こんな世界があるよと体験活動を通して児童に示すことが必要なのでは。
- ・PTAや地域との連携では、地域と保護者とともに学ぶ機会をどう組み合わせていくかが課題ではないか。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・学校と保護者や地域とが今年度もコロナ禍にあつて連携が難しかった。コロナ禍後を見据えた、保護者に向けて、学校教育活動を理解してもらう場を設けるようにする。
- ・学校からの情報発信を、密になるようにHPの更新回数・コンテンツを増やして学校の情報をわかりやすく伝えるように継続する。
- ・教職員の働き方改革を進めるために、尚一層の改善点等を共有して、働きがいのある職場づくりを確実に進めていく。